

大阪フットサルリーグ 2016 『 諸注意 』

- 1) 準備担当チームは、各チーム最低5名を8時45分までに会場に集合させ、準備を手伝わなければならない。また、最終試合のチームは、後片付けを手伝わなければならない。
- 2) 会場に到着したらその日のメンバー表を運営本部で受け取ること。
- 3) MCM は、(選手証ならびにメンバー表の提出と共に) マッチコミッショナー立ち会いのもと、試合開始予定時刻1時間前(第1試合は45分前)に大会本部にて行う。時間を厳守すること。(ユニフォームはこのとき決定される)
- 4) 審判を行うものは、原則、試合開始10分前までに大会本部に審判員証(写真付)、または顔写真をアップロードしたキックオフ画面から電子登録証を出力して持参するか、どちらかの方法で必ず確認を受けること。また主審・第2審判は必ず黒の審判服を着用し、胸にワッペンを付けなければならない。
- 5) 記録員は、試合終了後、速やかに大会本部にて主審に公式記録の確認を取ること。
- 6) 選手、役員は、フロア内での行動は袖のある服装でなければならない。(インナーシャツは認めない)
- 7) フロア内では、シューズを履いていること。シューズは体育館フロア内に入るときに履き替え、スタンド等フロア外では試合に使用するシューズを履いてはならない(各会場の使用規定に沿うこと)。
- 8) 交代要員が着用するピブスは、それが見えるように着用すること。
- 9) ベンチに入るチームオフィシャルは、選手と同様に試合前にシューズの確認を受けること。
- 10) 認められているもの以外は、試合中ベンチ及びフロア内に立ち入ることは出来ない。次の試合の関係者もハーフタイムの間にアップするとき、あるいは、やむを得ず役員室に入るために通過する場合以外では、試合が終了してそのチームが退くまで入ってはならない。
- 11) 試合中に退場または退席となったもの、及び出場またはベンチ入りを停止されているものは、運営委員として役割を果たす、もしくはやむを得ず役員室に入るために通過する場合以外は、ピッチの設置されたフロア内に立ち入ることは一切出来ない。また、当日は試合終了まで当該試合に影響を与える行為を一切行ってはならない。
- 12) 試合中、試合に携わる者はフロア内にて電子通信機器を使用してはならない。両チームのみならず、審判員、記録員、ボールパーソンも同様である。
- 13) 試合球(本連盟のロゴ入りボール・3球)は、試合当日必ず持参し、MCM時に提出すること。
- 14) フロア外でのボールの使用は禁止する(体育館の使用規定に従うこと)。特に体育館内で使用するボールを、体育館外で使用しないこと。試合中、練習球は袋に入れてベンチの後方へ置く、もしくはフロアの外に出すこと。
- 15) 飲水は、各体育館で指定された所定の場所で行うこと。試合中は、水以外の飲料を飲むことは認められない。その他の飲料は、観客席で飲むこと。飲水場所を濡らした場合は、チームで責任を持って雑巾などで拭き取ること。(会場のモップは使用しない)
 - ・各体育館の飲水場所(試合中：水のみ)
 - ・東淀川体育館：体育館内の男子更衣室内および出入口の廊下(ドアの外側)
 - ・千島体育館：出入り口外側のフロア(防火扉の外側)
 - ・中央体育館/府民共済 SUPER アリーナ/原池公園体育館/守口市民体育館/岸和田市総合体育館
 - ／大浜体育館：出入り口外側(ドアの外側)
 - ・東和薬品 RACTAB ドームサブアリーナ/高槻市総合体育館/高槻古曽部防災公園体育館：体育館フロア内、指定シート上
 - ・キンチョウスタジアム練習室：ベンチ内
 - ・大阪成蹊大学：ベンチ内シート上

- 16) アイシングのためにベンチにて氷のうを使用する場合、市販されている氷のう袋を用い、ビニール袋など周辺が濡れる恐れのあるものは持ち込めない。使用はシート上とし（シートが無い会場ではベンチにて）、周辺が濡れた際はチームで雑巾などを準備して必ず拭くこと（会場のモップは使用しない）。もし、濡れたまま放置したチームがいた場合は、以後所属リーグ全ての試合においてベンチへの氷の持ち込みを一切禁止する。
- 17) テクニカルエリア内では、監督およびチーム役員1名のみが立ったまま指示を与えることができ、指示を行った後でも責任ある態度で行動する限り、ベンチに戻る必要はない。テクニカルエリアが無い場合、指示はベンチ前にて行い、指示を行った後は速やかにベンチに座らなければならない。
- 18) 全ての体育館は全面禁煙であるので注意すること。
- 19) 全ての体育館のフロア内では、試合中の飲水を除き、ガムも含めて飲食は厳禁である。
- 20) キャスター付きのバッグについてはフロア内では転がさずに持ち運ぶこと。
- 21) 試合中のフロア内での写真撮影は原則不可とし、観客席からの撮影もフラッシュを使用せず撮影すること。連盟により認められたものはピッチ内の定められた場所での撮影を認めるが、試合開始から終了までチーム関係者との接触を禁ずる。
- 22) 試合観戦時もマナーを守り、他の方の迷惑や不快に感じられる行動は一切しないこと。特に、口汚い野次や罵声などは絶対に行わないこと。
- 23) チームまたは選手に同伴する者の行動についても、チームで全責任を持つこと。
- 24) 大阪成蹊大学での会場使用時は学校駐車場の使用を禁ずる。
- 25) 着替えは更衣室を使用すること。
- 26) ごみは各チームで責任を持って持ち帰ること。
- 27) 会場を後にする前に、必ず大会本部に立ち寄り、競技運営責任者にその旨を伝えること。
- 28) (公財) 日本サッカー協会の会員であることに誇りを持ち、責任と自覚を持って行動すること。
- 29) 貴重品等の管理には十分注意すること。
- 30) 以後、要項及び規定に不備が生じた場合は、その都度規定を加え、各チームに書面にて連絡する。